

2026年度（令和8年度）学校推薦型選抜

グループワーク 課題

芸術文化観光専門職大学

芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この課題冊子は開いてはいけません。
2. この課題冊子は表紙のほかに2ページあります。
3. 課題は1題あります。
4. 試験時間は65分です。
5. 試験終了後、課題冊子は持ち帰りなさい。

課題

人口20万人台の地方都市（県庁所在地）であるX市では、市民一人ひとりにとってより良い行政や暮らしのサービスを実現するための新たな政策アイデアを募集しています。

今回、X市から高校生の皆さんに、そのアイデア提供の依頼が届きました。

高校生の皆さんへ

現在X市では、市が抱える課題解決に向けての政策を立案するにあたり、ビッグデータを活用していきたいと考えています。

「あなたなら、より良い社会を目指して、ビッグデータをどのように活用しますか？」

皆さんからの新たな政策アイデアを募集しています。

チームでビッグデータを用いた政策アイデアを考えなさい。

アイデアの提案は最終的に一つにまとめ、テーマをつけたうえでX市の担当者に向けて発表することとします。

参考資料として、「ビッグデータの定義及び範囲」を添付します。

試験終了の5分前になったら、指示に従って発表しなさい。

なお、発表の形式は問いません。

〈参考資料〉

ビッグデータの定義及び範囲

ビッグデータとは、スマートフォンやセンサーなどの IoT 機器の進化により、位置情報、行動履歴、視聴履歴、消費行動といった多種多様な情報が日々大量に収集・共有されるようになったデータ群である。特に近年は、インターネット上の仮想的なデータ(サイバー空間)に加え、IoT の進展に伴って現実世界のリアルなデータや、企業間取引(B to B)に関するデータまで対象が広がりつつある。このような背景から、ビッグデータは単なる大量データではなく、社会やビジネスに新たな価値をもたらす資源として注目されている。ビッグデータは大きく以下の 4 つに分類される。

- 1) 政府:国や地方公共団体が提供する「オープンデータ」
- 2) 企業:暗黙知(ノウハウ)をデジタル化・構造化したデータ
- 3) 企業:M2M(Machine to Machine)から吐き出されるストリーミングデータ
- 4) 個人:個人の属性に係る「パーソナルデータ」

「パーソナルデータ」は、個人の属性情報、移動・行動・購買履歴、ウェアラブル機器から収集された個人情報を含む。また、特定の個人を識別できないように加工された人流情報、商品情報等も含まれる。

出典:総務省 平成 29 年版『情報通信白書』より一部改編

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc121100.html>

